

平成6年度ミュージアムさくら塾 第1回

桜土手古墳群秘史 エピソードで綴る桜土手



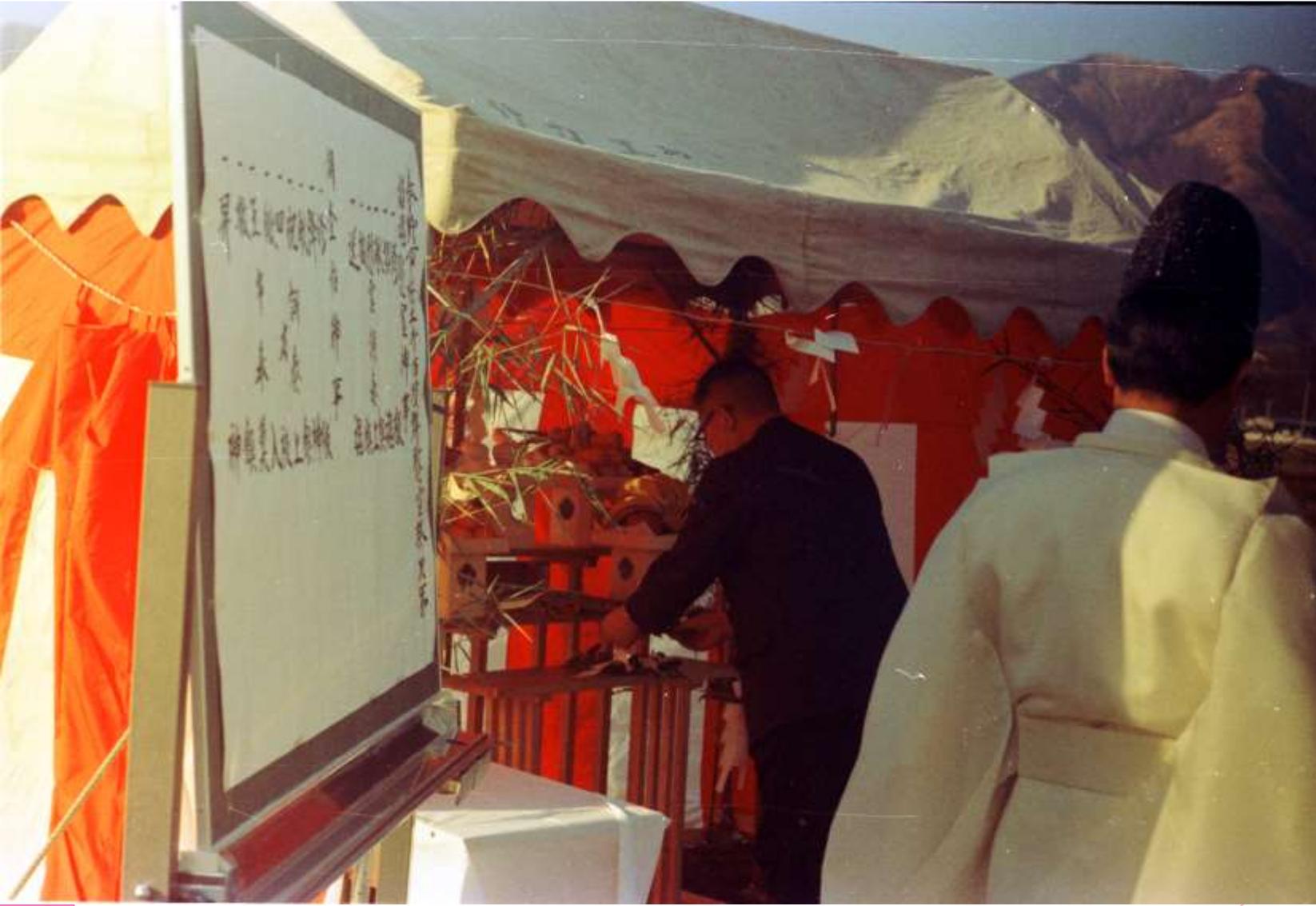
令和6年4月20日 文化財・市史担当 大倉 潤

地租改正地籍図の桜土手古墳群周辺（明治10年）





桜土手古墳群慰霊祭



桜土手7号墳



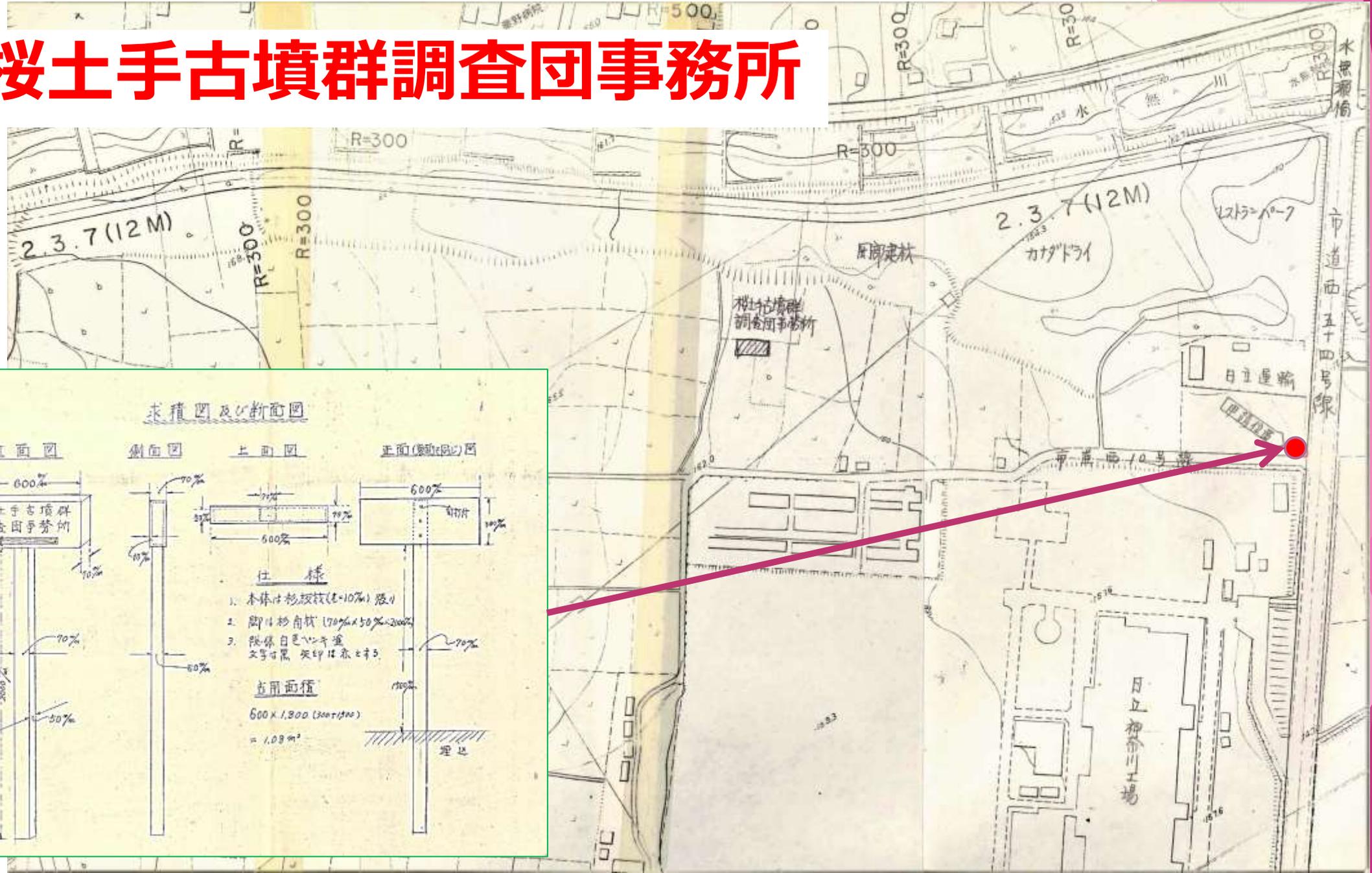
第一次調査現場見学会



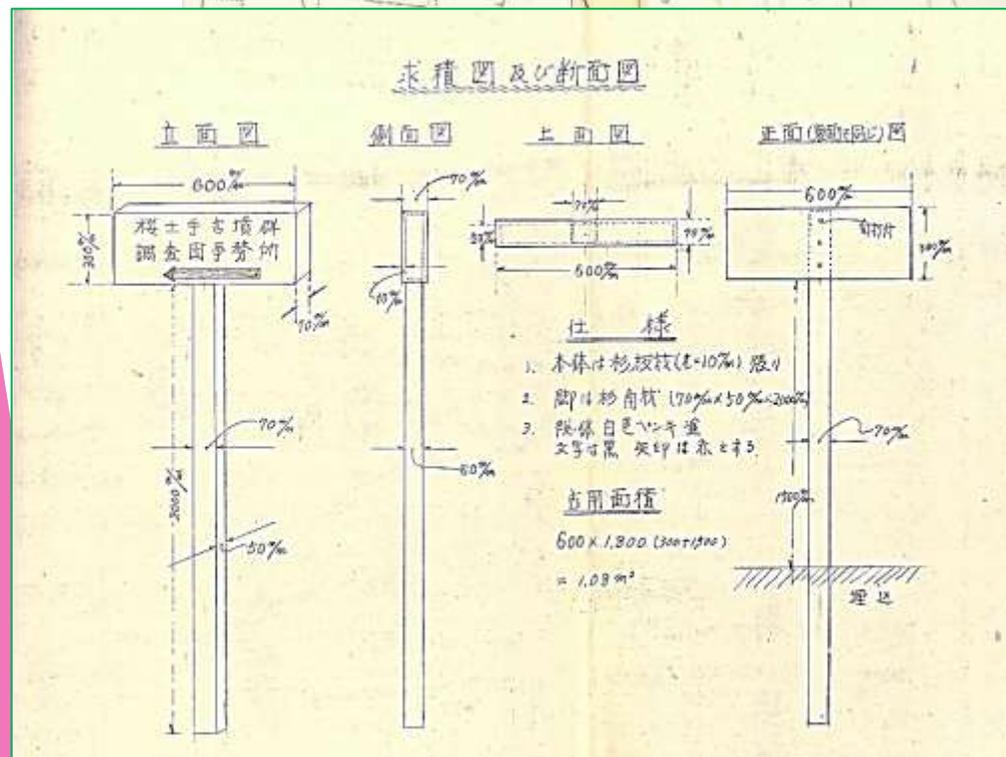
第一次調査時のスナック写真



桜土手古墳群調査団事務所

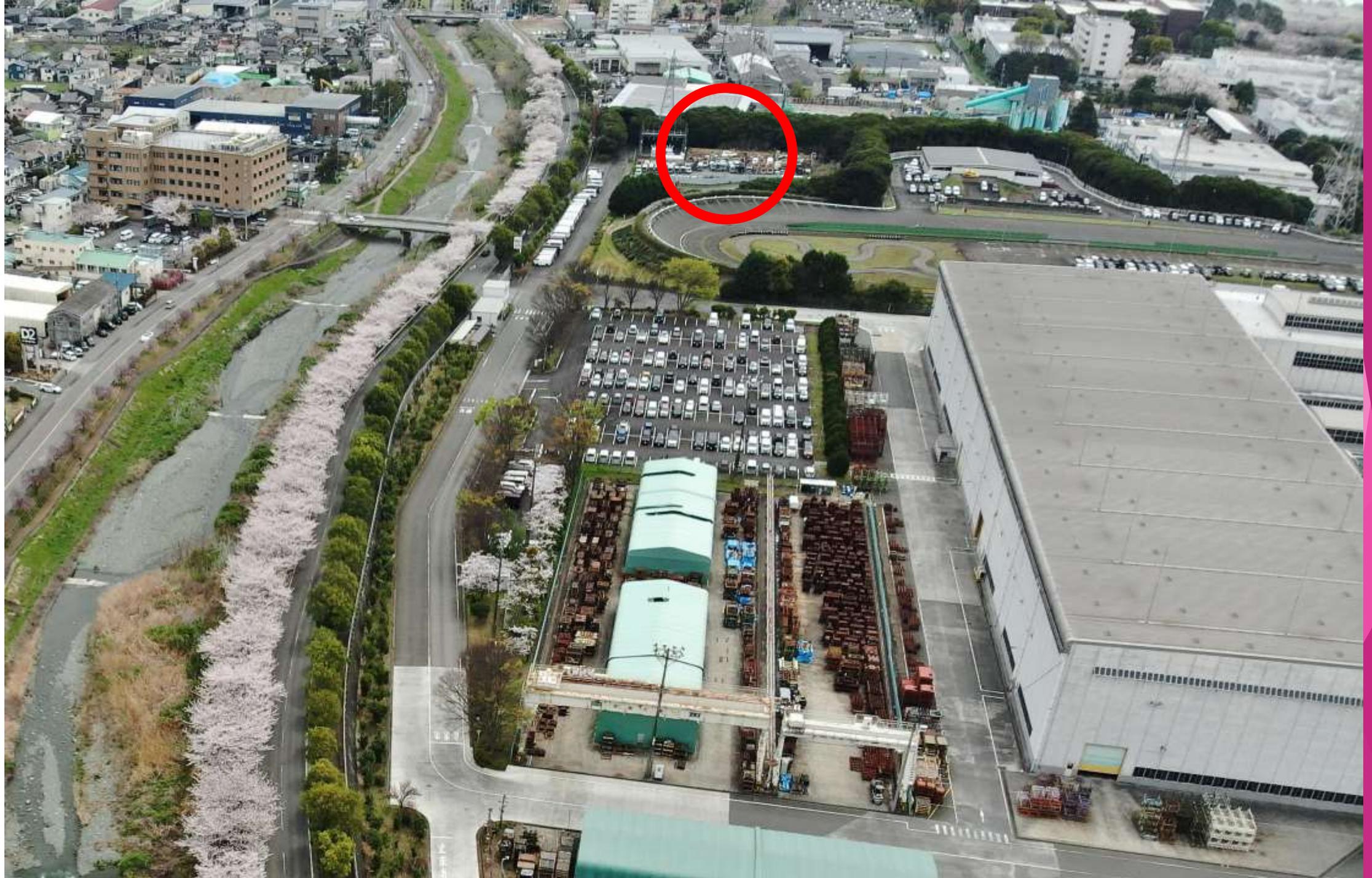


求積図及び断面図



桜土手古墳群調査団事務所の規模





倉庫と宿舎



調査日誌と発掘ニュース

桜土手古墳群調査日誌 昭和49年2月14日(月)

調査地点 西側(西側11号) 調査者 和島

⑤ 取付
2.25m 最前部の石から
1.70m 最奥の石から
1.35m
1.15m

石壁の下に埋め込まれた土を掘って、石前中、石中層を掘り出した。石壁直下の土は、1層下り土と、石壁と石中の間に上り土が露出していた。一層下り土は、石壁と石中の間に埋め込まれた土と見られる。石壁直下の土は、1層下り土と、石壁と石中の間に上り土が露出していた。一層下り土は、石壁と石中の間に埋め込まれた土と見られる。

石壁の斜面
 最上層 赤土 粗細 2.00~1.70m
 中間層 やぶい 砂中位 1.70~1.35m
 上層 黒暗色 砂中位 1.15~1.70m

石壁の平面の溝は、西側主体部前面、北側で露出した溝の溝まがらみかと思われ、しかし火山灰がびっぴり非常に少ないが...

桜土手古墳群調査日誌 昭和49年2月14日(月)

調査地点 台所 調査者 内田 節子

⑥ 朝
パン、ミルクジュグ、パン、
飲み物(コーヒー、紅茶)

⑦ ジャージャーマン、サラダ

⑧ おやつ アイスクリーム

⑨ 御飯、お味噌汁(わかめ)、おじき
ピーマン揚げ、いんげんと豚肉炒め、
おしんこ、マヨウリのつけ合わせ。

桜土手 (NO.1)

1974.2.11
和歌山県東牟婁郡桜土手古墳群調査ニュース

I 発掘調査までの経過

II 調査開始にあたって

III 桜土手古墳群の現状

あとがき

I 発掘調査までの経過
 直年のほげしい前巻で大郡町周辺の農村地帯は急激に変遷し、長い前にもたれてきた瀬や運文化財は大規模に破壊されつつあります。私たちが発掘する桜土手古墳群も雨害によって約半割の古墳が消失する運命におかれています。

東牟婁郡の西部山麓下にある桜土手古墳群は、限下でも多数の古墳群で築造3ヶ基をかぞえることができます。和歌山県にあっては数十基もの古墳が小地域に群集している大古墳群がかなりみられました。雨害によってつぎつぎと消失し、現在ではわずかに数基ないし10基前後の小古墳群がいくつか残されるに過ぎません。桜土手古墳群の東遊園の現状をつかむことが、

10年ほど経過 . . .



テクノパーク構想

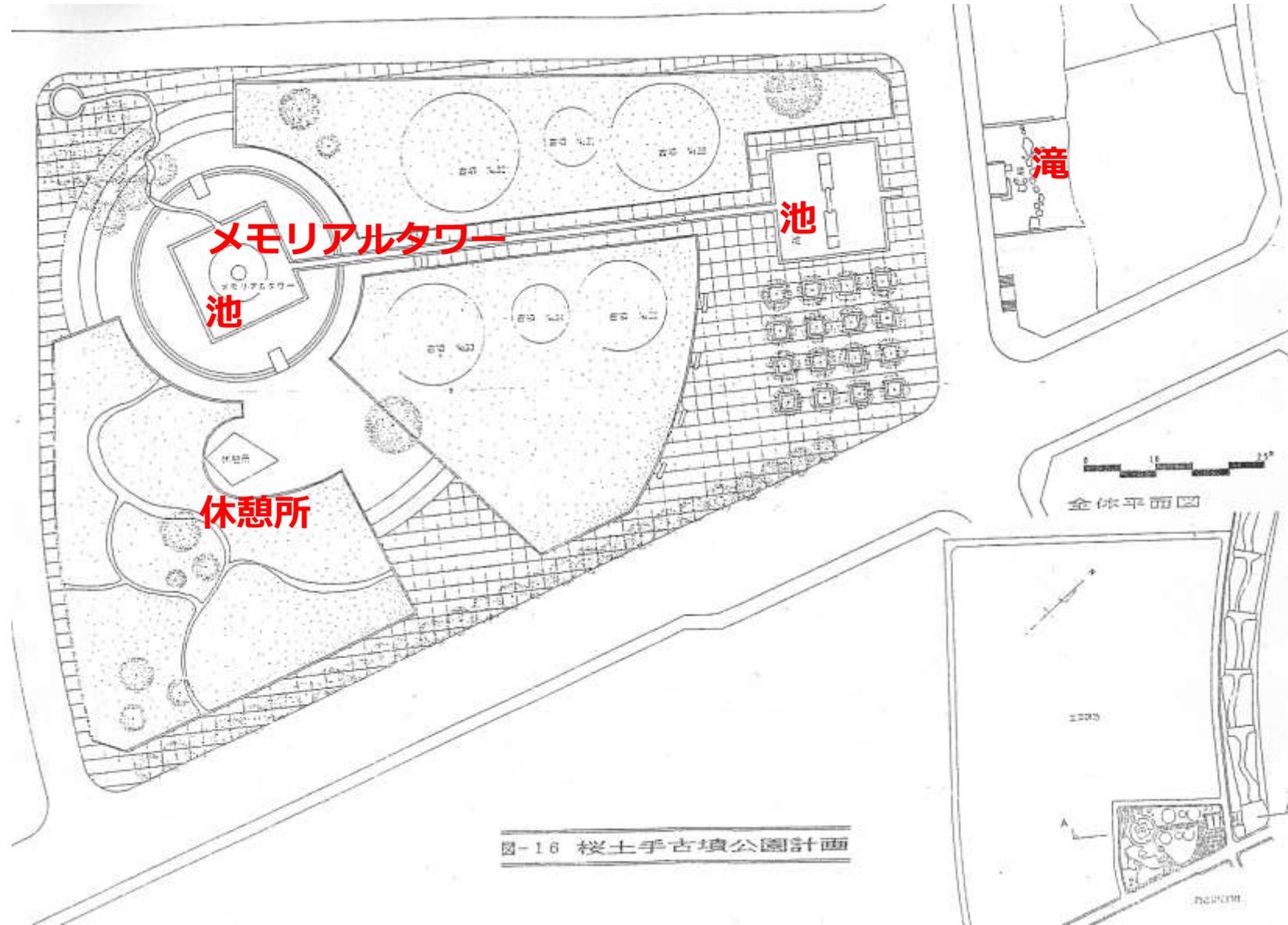
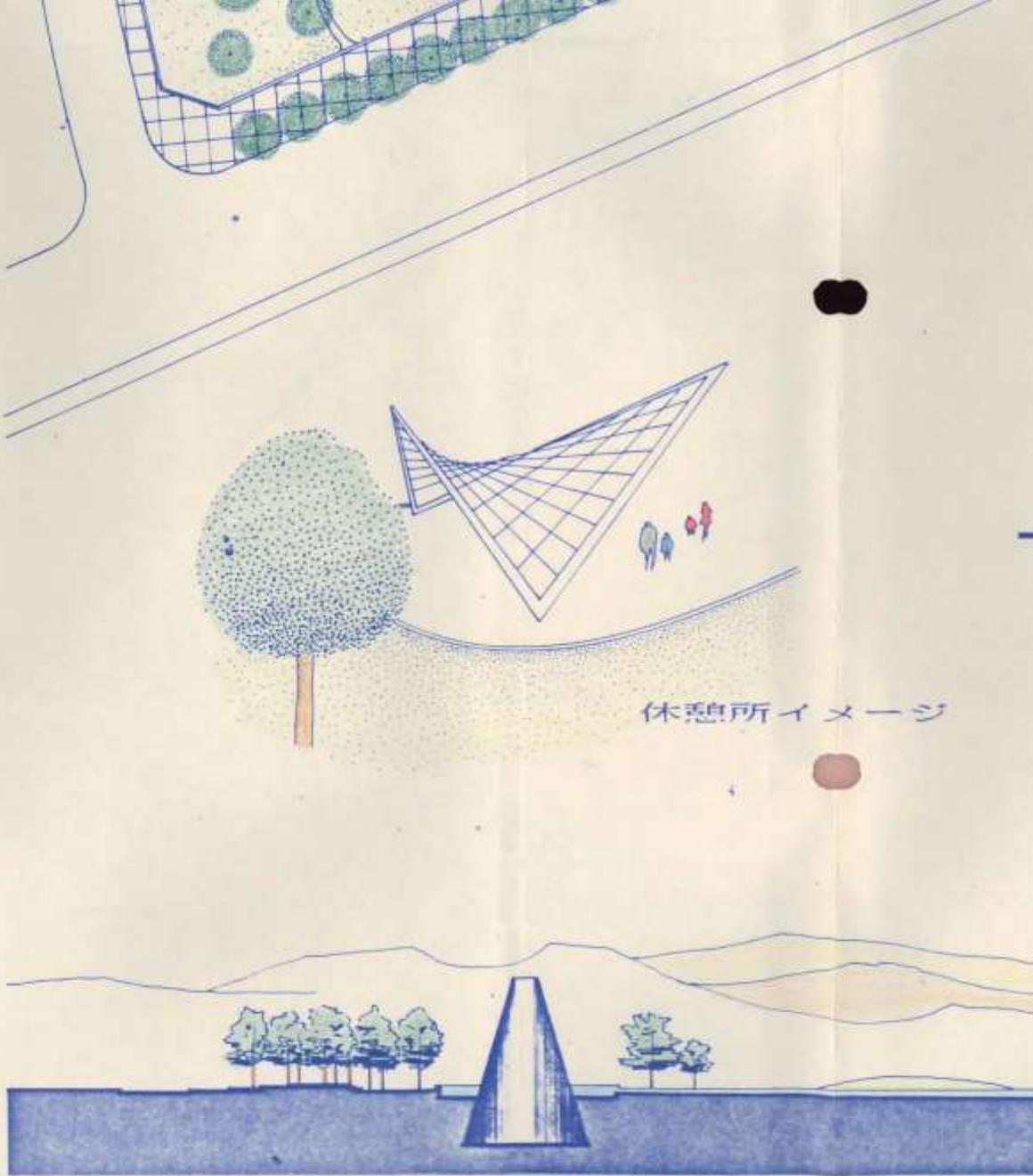
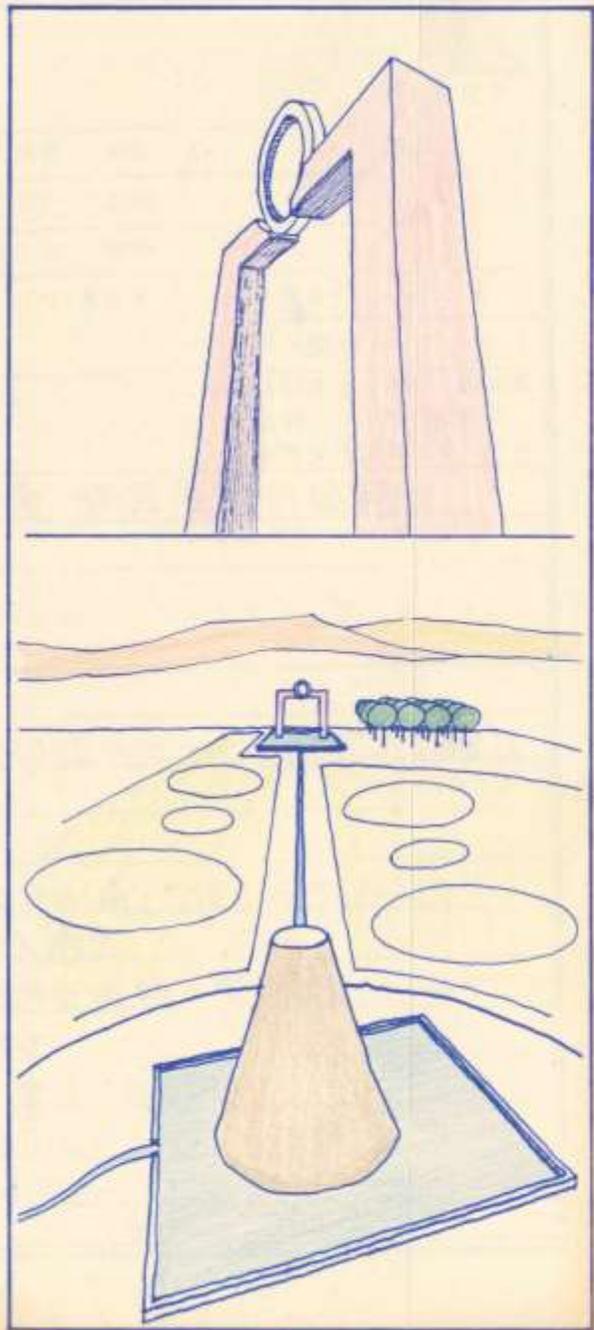


図-16 桜土手古墳公園園計画



区画整理前

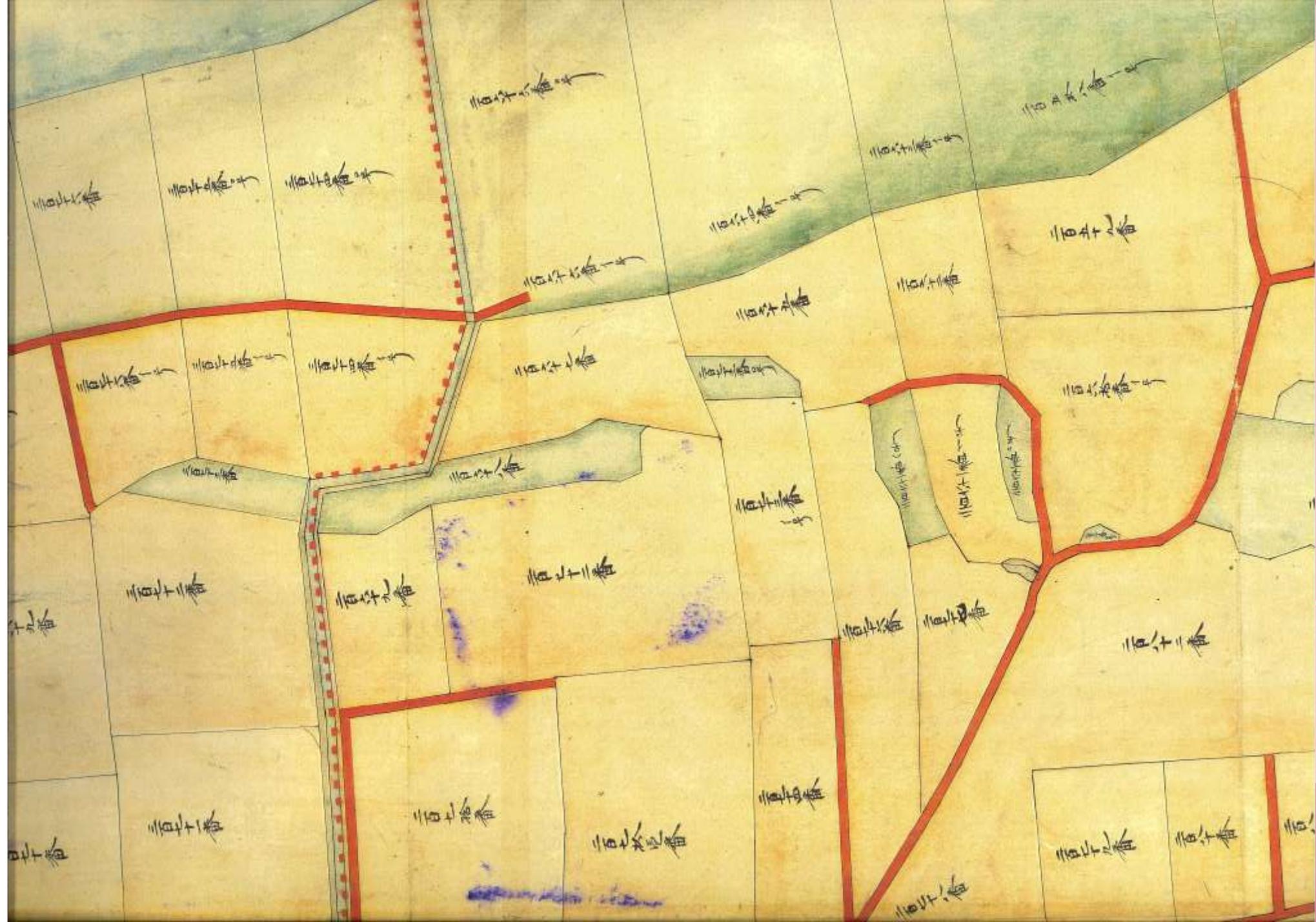


(昭和58年 撮影)

区画整理後



(平成2年 撮影)



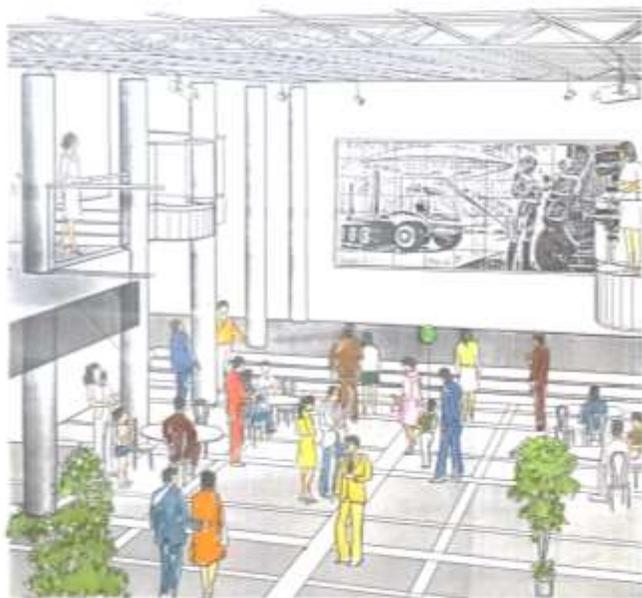
堀山下工業団地古墳公園整備構想



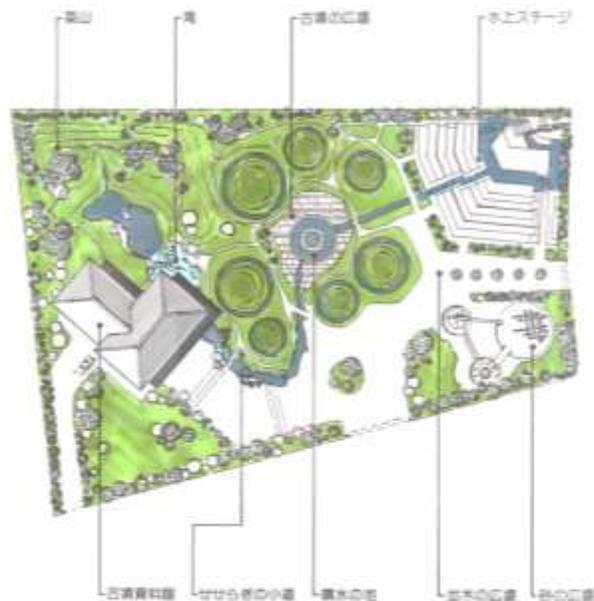
■古墳展示室



■水上ステージ



■大型スクリーンホール



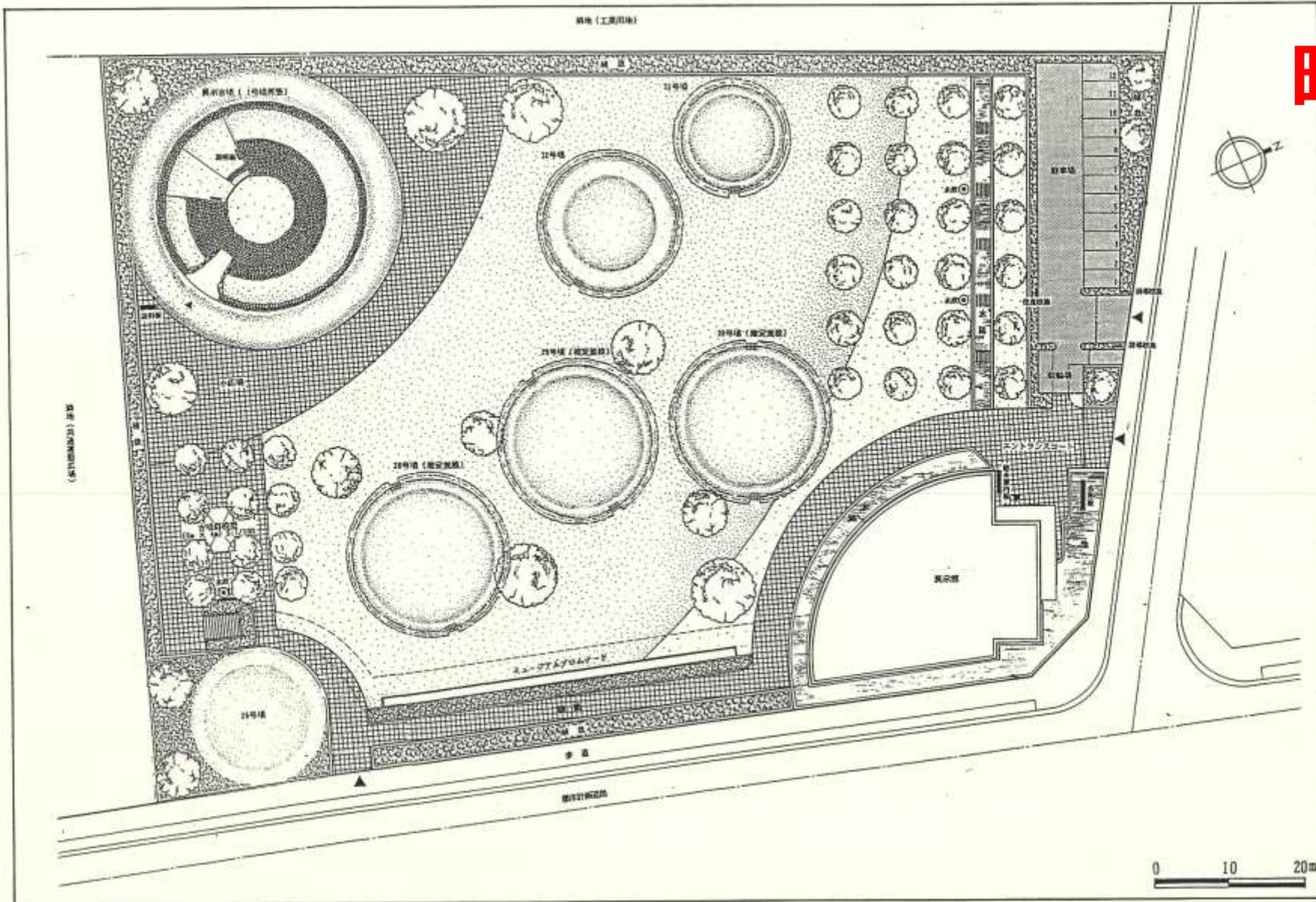
■せせらぎの小池



(仮称)桜土手古墳公園整備基本計画書

昭和61年12月

1. マスター・プラン





第二次調査現場見学会





「まほらの奏で」 設置工事



古墳展示館建設中



古墳公園造成中 全体



古墳公園 令和6年4月8日



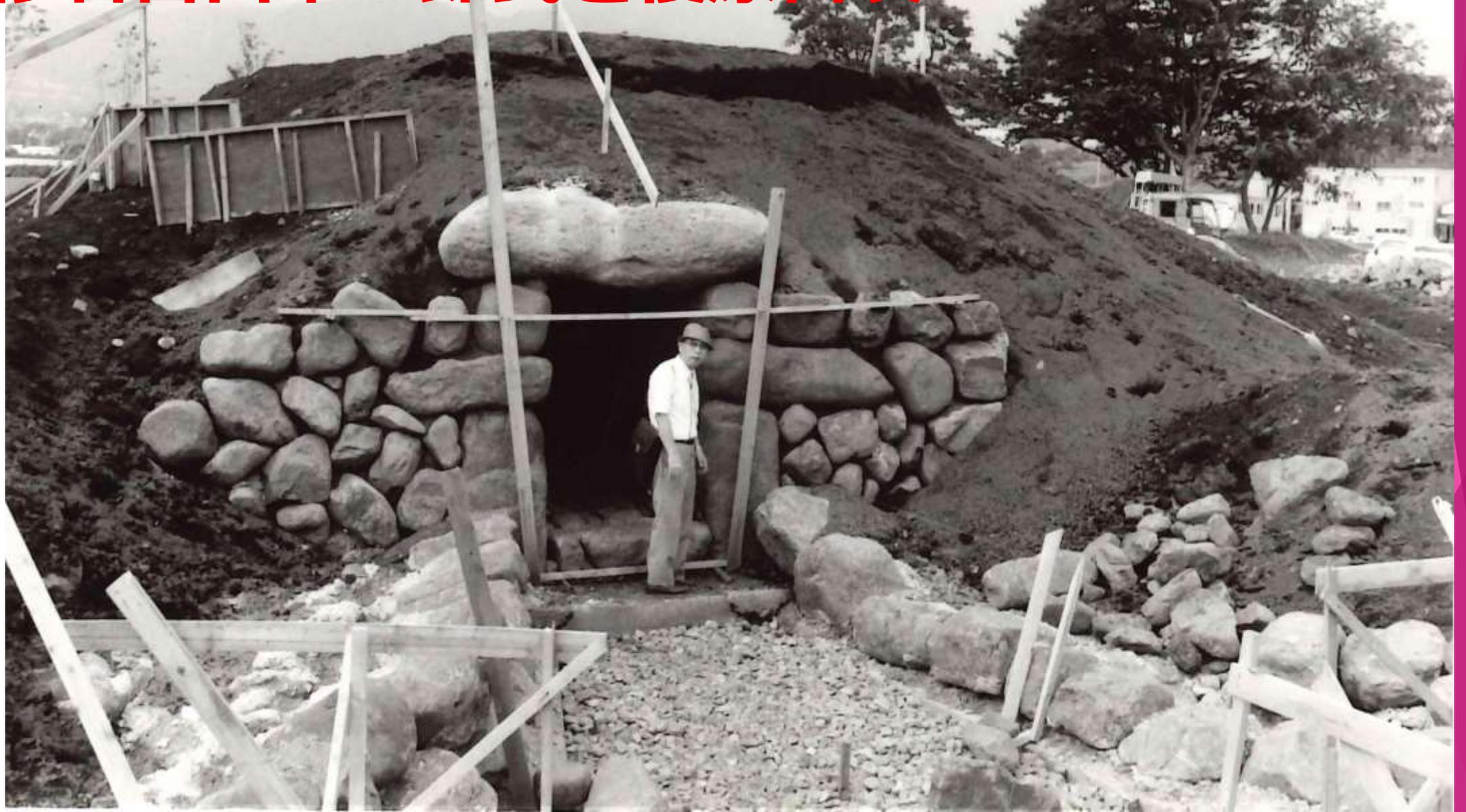
古墳公園造成中（復原古墳）



復原古墳の奥壁は7号墳の奥壁を天地逆にして再利用



監修者吉田章一郎氏と復原古墳



映像展示アフレコ風景



オープン間際の桜土手古墳展示館（平成2年）





平成15年度 古墳めぐり



平成21年秋季特別展 「直良信夫展」



平成30年度 新東名関連遺跡発掘調査見学会（稻荷木遺跡）

